

Q3：単元の指導計画はどのように作成したらよいですか？

A： 年間の活動時間にもよりますが、週1時間程度の活動が行われるのであれば、3～5時間を一単元ととらえ、一つの題材を中心に活動を計画するのが望ましいと言えます。ある程度まとまった題材を通して学習をすることで、児童が興味をもって活動に取り組むことができるからです。単元の構成は、児童の興味・関心が持続できるように、児童の意識のつながりを大切に、活動内容や言語材料が関連する活動を取り入れていくとよいでしょう。

始めにたっぴりと英語の音を聞く経験をして音に慣れたら、実際にゲームやごっこ遊びなどの活動を通して繰り返し言ってみる体験をする、そして、実際に目的を達成するために自分で英語を手段として使ってみるといった流れが自然です。

ここでは、1単位時間を45分と考えた場合の4時間の単元構成の例を示します。

- 第1時 新しい題材に関係した名詞等に親しむゲーム1
- 第2時 新しい題材に関係した名詞等に親しむゲーム2
- 第3時 第1、2時で親しんだ言葉を使い、友だちとのやり取りがある活動
- 第4時 第3時のやり取りを活かして何かをやり遂げる活動

次に1年生の「動物」を扱った単元での構成の方法を紹介します。

- 第1時 「動物カード取りゲーム」
ALTの言う動物の名前を聞いて、カードを取る。その時に何度も繰り返して動物の名前を言う。
- 第2時 「動物サイコロゲーム」
サイコロの出た目の動物の名前を言う。
- 第3時 「動物当てゲーム」
鳴き声や部分カード、ヒントを出してクイズをしながら、動物を当てる。
- 第4時 「動物園づくり」
動物当てクイズをして、もらったシールを集めて、自分の動物園を作る。

このように、活動を重ねるごとに、児童同士がやり取りする場面を増やしていったり、活動に負荷を与えたりすることによって、活動が単調にならないようにメリハリを効かせることも大切なことです。年間の活動時間数が少ない学校でも、このような変化のある繰り返しをしながら単元を構成することは可能です。そうすることで、児童が英語を話すことに慣れて自然に口から出るようになり、「できそうだ」という安心感をもって活動に参加することができます。